



干支は丑、幸運をギュットつかみましょう！

コンサルテ瀬田便り



和服で勢揃い(3日お茶会で)

明けまして、おめでとーございませう。

皆様、明けましておめでとうございます。

2007年はその年を表現する一字として「偽」が選ばれ、そして昨年2008年は「変」の字が選ばれました。米国サブプライムローンの破綻をきっかけに始まった世界同時金融不安が深刻になり、まさしく昨年末から「激変」の社会状況となっております。医療・看護・介護分野でもその影響が今後懸念され、少子高齢社会の諸問題が、10数年前から検討されていたにも関わらず年金問題を含めて依然、迷走状態が続いています。



トータルケアライフ株式会社
代表取締役 堀 正樹

5人に1人は65歳以上という社会状況で、日本型福祉社会をいかに形成するかが今後の日本の浮沈に係わる重大事であり、トータルケアライフ(株)としても、その進路を誤らぬよう細心の注意が肝要かと存じております。今後ともご入居の皆様方、ならびにご家族の皆様ともども、緊密な連携のもとに、レイカデア(琵琶湖畔の理想郷)をめざしてより一層努力してゆく所存です。

一昨年来トータルケアライフ(株)としましては、食事内容の改善・入浴設備の新規購入・隣接するレイクサイドクリニックの新装の要望等、ご利用者の皆様方がより快適な日々を過ごせますよう、サービス内容の向上と整備を進めて参りました。また社内外の研修を通して介護のプロフェッショナルな人材育成とあわせて、関西一円はもちろん、北陸・東海・四国・九州まで職員募集の活動領域を拡大、専門学校や大学などを直接訪問して、介護専門職の新人確保に努めて参りました。おかげを持ちまして、相当の成果を挙げる事ができました。

2008年元旦のご挨拶でも提言いたしましたように“してはならないことは絶対しない、すべきことは必ずする。個人として個々が明確な社会的責任を果たす”という基本姿勢をモットーに、職員一同、心ひとつにして、一枚岩の団結をもって真摯に諸問題に取り組んでゆく所存です。今後とも相変わらず「コンサルテ瀬田」をご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2009年1月1日

トータルケアライフ代表取締役・堀 正樹

行く年を飾った行事いろいろ



ダンスチーム「大曇天返し」の演舞

創作ダンス「大曇天返し」

12月20日、代表・松田章宏さんが率いる創作ダンスチーム「大曇天返し」一行14名の公演が行われました。

若い大学生の躍動する舞と踊りが爆発した感がありました。

ことに、アップテンポにアレンジされた「祇園小唄」のダンスには、心から魅了され、楽しいひと時を送りました。

やって来ました餅つき大会

12月25日、恒例の餅つき大会が行われました。

各階から飛び入りで、われと思わん方が元気に杵を取ると、「よいしょ！」「よいしょ！」の掛け声が沸きあがり、大いに盛り上がりました。

女性軍は、色とりどりの餅花作りに取り組みました。



「よいしょ！」「よいしょ！」の掛け声に元気に応えて



女声合唱団「コール平野」の公演

アヴェマリアに感動

12月26日のクリスマス会に女声合唱団コール平野(指揮・稲垣章子さん、伴奏・川西京子さん)の皆さんの演奏がありました。コーラス、ピアノ演奏、独唱でクリスマス曲を沢山聞かせて頂きました。

2009年、新年始動



元旦 書き初め



元旦 獅子舞(獅子頭は手製です!)



2日 お茶会



3日 近くの神社で初詣

新入職員紹介



機能回復 提中 範人



1F・CW 古田 初美



3F・CW 出崎 裕子



当直 大橋 副美明

いずれも、12月21日以降の採用です。今後、よろしくお願ひします。

(編集後記等、休載)

平成20年度決算報告ならびに今年度施設運営について

入居者のみなさま、ご家族のみなさま、明けましておめでとうございます。昨年同様、本年もよろしくお願いたします。

さて、昨年来、コンサルテ瀬田では快適で、切れ目(乃至継ぎ目)のないケアを提唱し、実践しているところです。まず、「快適」は申すまでも無く、心身に支障が起きない過ごしやすい清潔な住環境と、苦痛や障害をもたらさない安全な身辺介護サービスの提供を意味します。また、継ぎ目ない介護と言う概念は、医療と介護の間のケアに、あるいは逆に介護から医療への橋渡しの間に、ケアの断絶があってはならない、切れ目ない医療から介護へ、あるいは介護から医療へのスムーズな連携を保障すると言う、介護の在り方を表します。この理念に違わないケアが日常的に達成されるよう、努力しております。

医療との連携については、絶えず最良のサービスが提供できるよう力を尽くしているところですが、昨年11月末に隣接地に様相を改めてレイクサイドクリニックが移設され、クリニックとの間にこれまで以上に自由度の高い連携が可能になったことは大変喜ばしいことだと自負しています。

さらに、今年度は、介護度が徐々に上昇する入居者様の状況に対応すべく、体を横たえたままでも入浴して頂ける特殊浴槽を、春から採用することになりました。何卒、ご期待下さい。

報告が前後しましたが、昨年平成20年度の決算は、お陰をもちまして約、4676万円の繰越利益剰余金を計上することができました。主だった収入は、介護保険収入が2億8400万円、介護保険利用者一部負担収入が3100万円、入居一時金が3870万円、家賃収入が8213万円、サービス収入が1億8140万円、その他諸々合わせて、年間で6億3639万円の収入でした。

この売上から介護用品仕入と給食費を足した売上原価8985万円を引いた、売上総利益は5億4653万円でした。

次に、販売費及び一般管理費の総額5億1016万円を引いた営業利益が3637万円。販売費の中で一番大きいのは人件費で昨年度は2億6500万円(売上比41.6%)を計上。一般管理費は合計で2億4514万円でした。主なものは地代家賃1億1825万円(同18.6%)でした。

上記営業利益から受取利息、雑収入などの営業外収益242万円、雑損失42万で営業外収支は約200万円となり、それを加えた結果、経常利益は3836万円。これから概算労働保険料・概算消費税などの特別損失779万円を引いた当期純利益は3057万円ですが、これに繰越利益剰余金1618万円を足して、昨年度の繰越利益剰余金は、4676万円となります。

以上のような、昨年度決算も利用者様並びにご家族様一同のご理解ご協力あつての賜物と深く感謝いたします。今年度も、職員各位とともに、快適で継ぎ目ないケアに一段と邁進する覚悟です。新年に当たりご挨拶にかえさせていただきます。

コンサルテ瀬田 施設長 高橋克嗣